

4 - 1 信越地域の地震活動

Seismic Activity in the Shin-etsu District, 1973-1978

東京大学地震研究所

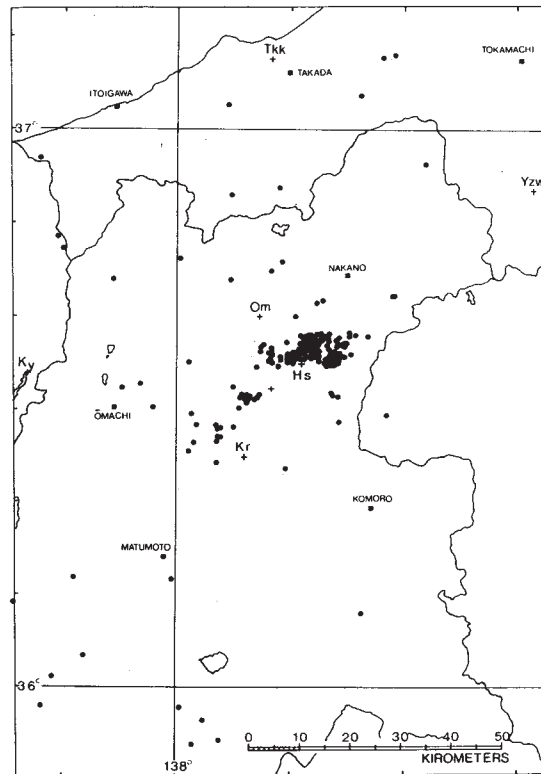
北信微小地震地殻変動観測所

Hokushin Observatory of Micro-earthquakes and Crustal Movement,
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1973 年から 1977 年までの 5 年間の北信地域の地震活動は、比較的平穏に推移し、気象庁によれば、松代付近での有感地震回数は、月平均 3 ～ 4 回程度（震度 I ～ II 程度）で横ばい状態であった。第 1 図～第 5 図は、北信観測網の大峰（Om）、保科（Hs）、上室賀（Kr）のデータにより決定した年別の震央分布図である。松代群発地震の継続的な活動（特に保科観測点の北方に密集している）がみられる他、周辺（新潟県南部を含む）に散在する活動がみられる。しかし、この期間、顕著な震源域の移動といったものは、認められなかった。

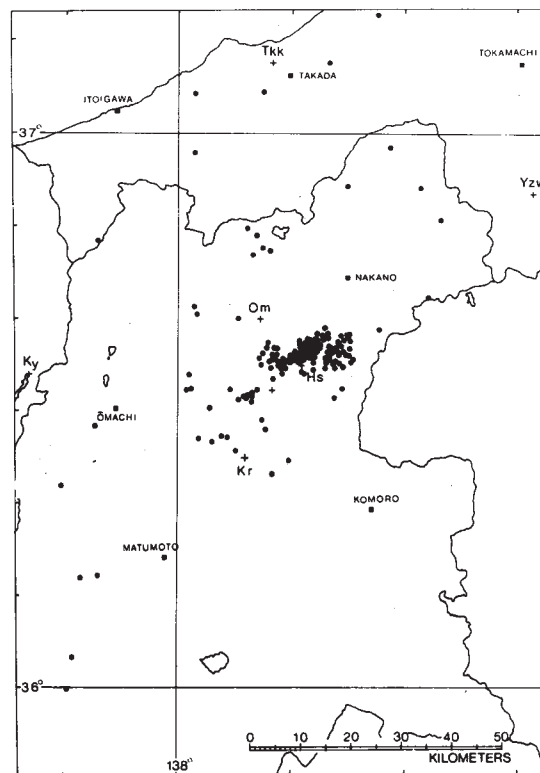
第 6 図は、北信観測網の全観測点のデータによって決定した 1978 年 9 ～ 12 月の震央分布図（暫定結果）である。新潟県下の観測点を含むため、前の 5 年間の分布図にくらべ短期間であるが、新潟県南部にかなり多くの震源が求まっている。

なお、1979 年に入って、3 月 2 日に、松本付近に M3.9 2 個、M 3.7 1 個を含む群発活動があった（第 6 図の●印）。この付近は、第 1 ～ 6 図でわかるように、これ迄活動度の低い場所であった上、再活動の可能性があると考えられている糸魚川－静岡構造線中央部に当るので、注目したが、その後顕著な活動はみられないようである。



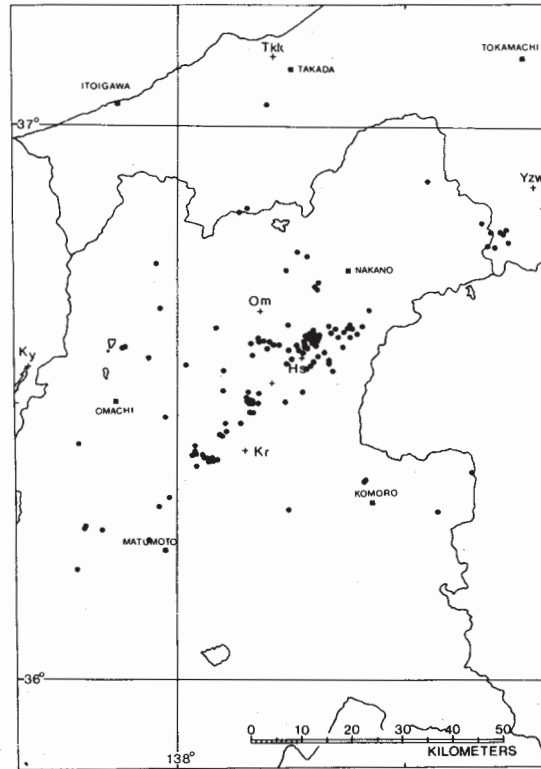
第 1 図 1973 年の震央分布図

Fig. 1 Epicentral distribution of microearthquakes in 1973.



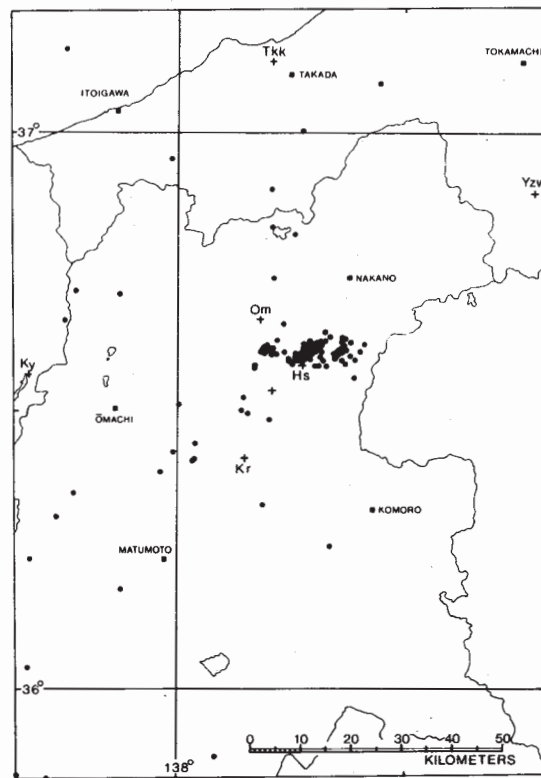
第 2 図 1974 年の震央分布図

Fig. 2 Epicentral distribution of microearthquakes in 1974.



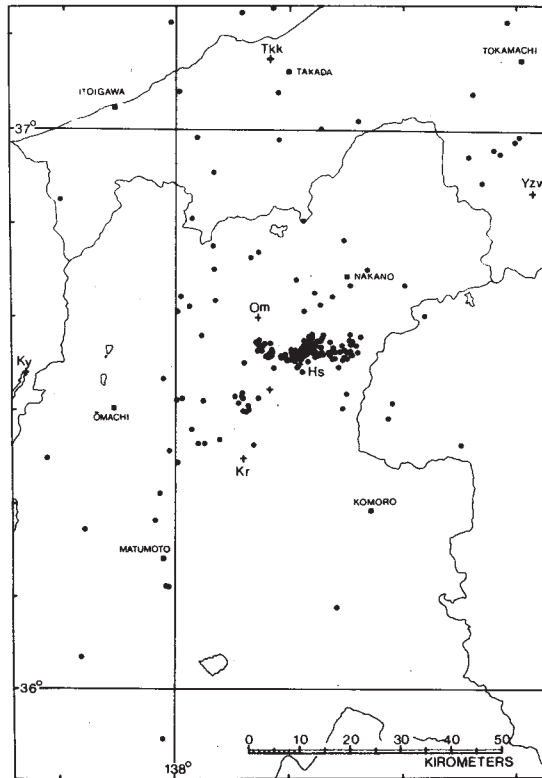
第 3 図 1975 年の震央分布図

Fig. 3 Epicentral distribution of microearthquakes in 1975.



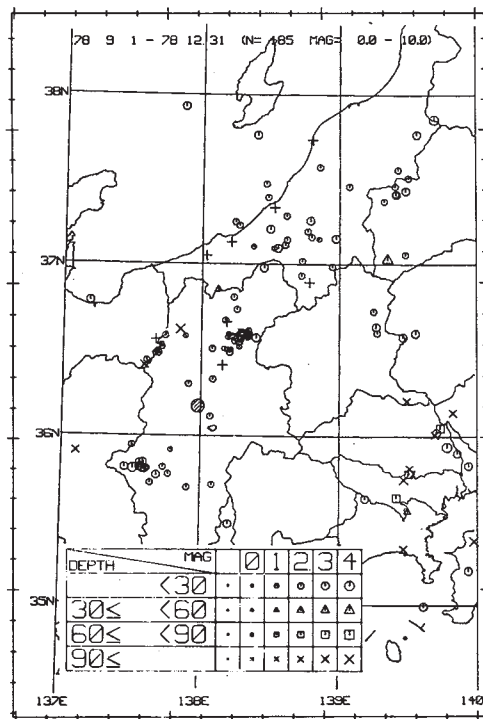
第 4 図 1976 年の震央分布図

Fig. 4 Epicentral distribution of microearthquakes in 1976.



第 5 図 1977 年の震央分布図

Fig. 5 Epicentral distribution of microearthquakes in 1977.



第 6 図 1978 年 9 月 - 12 月の震央分布図 (暫定結果).

●印は 1979 年 3 月 2 日の群発地震の震源域

Fig. 6 Epicentral distribution of microearthquakes for the period September - December 1978 (preliminary). The location of the earthquake swarm near Matsumoto on March 2, 1979 is also shown (the hatched circle).